

館 報

# おみ

11月号  
No.704

2025.11.25 (令和7年) 編集と発行／長野県東筑摩郡麻績村公民館  
TEL 0263-67-2240



▲甘くておいしいね！ ～麻績保育園焼き芋会～（11月20日撮影）関連記事 4 面

# 多くの作品が集まった 令和七年度 文化祭開催

文化と芸術のイベントである文化祭を十一月一日、二日の両日にわたり、地域交流センターを主会場に開催しました。

オープニングセレモニーは、おみぽんと入館を待つ皆さんが見守る中、村長、村議会議長、教育長、館長とクラブ代表として、マクラメクラブの若林桂子さん（市野川）によるテープカットで始まりました。

一日目の午後には、九団体による芸能発表会があり、日頃の練習の成果を発表していました。

今年度、初めて参加した伝統芸能勉強会の発表は、下井堀青年団が解説を交えて銭太鼓を披露し、ダンスクラブは、観客を巻き込んで会場を盛り上げ、ピアノを楽しむ会は、飯森元喜さん（横屋）が独奏で素晴らしい演奏を披露しました。最後には、童謡を歌う会の宮入清子さん（筑北村）から信濃の国について解説があり、全体合唱しました。



▲テープカットでスタート



▲カウルリコ  
寺澤フラスタジオ ハウオリ



▲アルプホルンを吹く会



▲ダンスクラブ



▲愈(いよ)の会



▲ピアノを楽しむ会



▲伝統芸能勉強会



▲童謡を歌う会



▲民謡民舞善の会



▲文化祭囲碁大会

二日目には、「文化祭囲碁大会」と講演会「筑北地域の戦国時代と青柳城」を開催しました。

囲碁大会は村内外から参加者が集まり、熱戦が繰り広げられていました。

結果は、次のとおりです。

Aリーグ  
優勝 郷津 実(松本市)  
準優勝 田川昌子(松本市)  
第三位 尾沢正幸(岡谷市)



▲筑北中学校吹奏楽部

Bリーグ

優勝 河住 久(松本市)

準優勝 中山一雄(西之久保)

第三位 竹前健治(横 込)

Cリーグ

優勝 三上彬文(松本市)

準優勝 西澤高貴(筑北村)

第三位 牛越 猛(生坂村)

Dリーグ

優勝 勝山稜太郎(松本市)

準優勝 飯島 正(筑北村)

第三位 川上磊象(筑北村)

総合優勝 三上彬文(松本市)

講演会は小瀬佳彦さん(横屋)が講師となり、集まった皆さんに筑北の動乱と青柳城の改築期についてスライドで説明されていました。

両日とも、地域交流センターでは、麻績小学校児童、筑北中学校生徒や各団体と個人の作品を展示し、おみ図書館はリサイクル市を行い、紙芝居の会の紙芝居の上演(一日目)、茶道クラブはお茶席を設け(二日目)、遊部は子どもたちとボードゲームを楽しみました。麻績学舎(旧麻績小学校北校舎)では、アトリエどんぐり第二会場と聖アートエキ

シビシヨンの開催など、芸術と文化の秋を味わうことができる二日間となりました。



▲小瀬さんの講演



▲第二研修室に飾られた作品



▲第三・四研修室には麻績学校児童の作品が並ぶ

## JFAこころのプロ ジェクト「夢の教室」

スポーツで活躍された選手を夢先生としてお招きし、夢を持ったきっかけ、困難や成功体験を語ってもらう夢の教室が、小学校五年生を対象に十一月二十日、麻績小学校で開催しました。

今年度の夢先生は、プロゴルフアーとして日本女子で十八回、アメリカ女子ツアーで一回優勝し、現在はゴルフ中継の解説者やレッスンコーチとして活躍している平瀬真由美さんをお招きし、小学校体育館で仲間と協力するゲームをした後で、ご自身の体験談をお話していただきました。

最初は父親のひと言がきっかけで、とにかく練習を継続し、挫折したときは、自分が信頼できる人に聞きながら、それでも練習をつづけ、成功にいたったというものでした。

最後に子どもたちは、将来の夢を発表し、先生は体験談から応援メッセージを送っていました。



▲練習を続けることが大事

## 災害時に備えて 第六回麻績学級

第六回麻績学級は「災害時に役立つパッキング」で、麻績村社会福祉協議会管理栄養士の麦島恵理子さんを講師に迎え、交流センター調理室で開催し、十一人の皆さんが参加しました。

パッキングとは、耐熱性のポリ袋に食材を入れ、袋のまま鍋で湯せんする調理法です。ライフラインが寸断された災害時でも、水とカセットコンロ等があれば、温かい食事ができ、災害時でなくても、少ない

調味料や時短などのメリットがあるものです。レシピは、もちもち豆腐パン、サツマイモご飯、サバのみそ煮とマーボー高野豆腐で、焼き鳥の缶詰や高野豆腐といった保存がきいて簡単に食べられるものも利用して調理していました。調理も、玉ねぎのみじん切りといった包丁を使うものもありますが、その後は袋に入れて煮るという工程だけでつくることができ、味もしつかりついていて、参加者の皆さんも感心してつくった料理を味わっていました。



▲食材を袋に詰めましょう





▲トリックオアトリート！

**ひだまり広場  
親子でハロウィン**  
「お菓子をくれなきゃ  
いたずらしちゃうぞー！」

今年度も十月に入ってハロウィンのお話を何回か聞いているうちに覚えた「トリックオアトリート」という合言葉を楽しみながら、「ハロウィンパーティーしよう」と盛り上がりました。親子でマントも作り、準備はOK。

いよいよ当日を迎え訪問した役場でもみんなで「トリックオアトリート」と大きな声で言い、村長さんからお菓子をいただきました。子どもたちもお菓子をもらうときはニコニコ笑顔でもらっていました。

教育委員会、わくわくの森など三か所訪問してお菓子をいただき、ひだまり広場に戻って、ほっと一息、もらったお菓子をおいしくにはおぼっている子と母のほっこり温かいひと時でした。

### 焼き芋 おいしかったよ！

年長さんが苗を植えて、掘り起こした大きなサツマイモを、十一月二十日に保育園の園庭で準備をしておいしい焼き芋にして食べました。木切れや丸太をお友だちと協力して運び、サツマイモを新聞紙とアルミホイルで包み、火の中へ投げ入れました。お庭で遊んでいると、どこからか「いしや〜きいも〜♪」の音楽が聞こえ、焼き芋屋さんが



▲おいしい焼き芋できるかな？

開店。甘くてしつとりとした焼き芋を食べると「おいし〜」という声があちこちからあがりました。この日は園開放日で未就園児の友だちも遊びに来ていたので、みんなでおいしくいただきました。

### 第五回ふれすぽ 松本山雅サッカー教室

今年度、最後となる第五回ふれすぽは、二回目となる松本山雅サッカー教室で、十一月十六日に麻績村体育館で開催し、親子あわせて十四人が参加して、サッカーを楽しみました。

講師に、元松本山雅FC選手の橋内優也さんとサッ

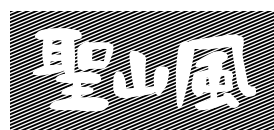


▲橋内さんと記念撮影



▲さあ勝負！

カーコーチの石山太陽さんを迎えて、二人一組になって体操や、交代でボールを使った運動の後に試合を行いました。最後には、子どもと橋内さんで対一のPKを行いました。楽しい時間を過ごしました。



なんと、テレビ朝日系列の番組「ナニコレ珍百景」に麻績村が紹介された。村の良さを存分にアピール。

なかでも村内で活動する一般社団法人・わくわくの村の取り組みが注目を集めた。働いた分の時間を貯めて使う、時間の貸し借りのシステム「時間銀行」。子どもから大人まで登録はだれでも。事務局が貯めたい人、使いたい人を仲介して、労力などで支え合う仕組みだ。昔は、「手間返し」という相互扶助の慣習があった。近所同士、労力で助け合う地域のコミュニティの一つだ。昔ながらの慣習は、新しい形で根付き始めている。地域で子育て支援をするファミリーサポート事業の要素もありそうだ。子育て、勉強、力仕事など、『お互い様』で支え合う。自分のできることが役立つだろうか。さっそく登録してみよう。

# 元氣通信!!

今月の小・中学校

## 麻績小学校

今年度、子どもたちの希望を元に、木工、絵画イラスト、郷土料理、茶道、ボードゲーム、ボール運動の六つのクラブが立ち上がりました。その内、四つのクラブでは地域講師の先生をお迎えし、専門的に教えていただきました。全八回のクラブ活動は、四年生以上が学年を超えて関わり、自



▲茶道クラブの様子

## 郷土料理クラブ

塚原 広

ぼくは今年度、郷土料理クラブに入りました。郷土料理クラブでは、「揚げ・焼く・蒸す」などたくさん料理方法を学びました。巻きずしを作る時は、自分の好きなようにできて楽しかったです。あまりふれられない郷土料理にふ



▲木工クラブの様子

## 絵画・イラストクラブ

飯森 昊

三年間イラストクラブを楽しみました。絵本やみんなの自己紹介の絵がたくさんあった雑誌などもみんなで作成しました。白い大きなキャンバスにリアルな果物の絵を描いたこともいい経験になりました。毎回楽しみにするクラブ活動でした。

## 筑北中学校

### 新人バレー

一年 飯森菜々湖

十一月一日、二日にバレーの新人戦がありました。私は新人戦を通してサーブ技術について感じたことがあります。一日目はあまりサーブが入らず、「本番になると、ここまで入らなくなるのか」と、とても驚きました。しかし、二日目は一日目よりもサーブが入るようになりました。その時にコーチに言われた言葉が「練習でいってもできることを、本番でもできるようにしろ」でした。この言葉

は思っていた以上に自分の心に深く刺さりました。これからはこの言葉を大切に

して、自分の目指す「強いサーブ」を打てるように、日々の努力を惜しまないようにしたいです。



▲練習の成果を発揮

## 六年生の中学校体験

一年 平田華菜恵

十一月十日と十一日に六年生の中学校体験がありました。中学校一年生の私たちは、六年生に中学校を紹介するために、学校案内やクイズなどをしました。

一年前の私は紹介される側だったので、今度は紹介する立場になって、プレゼ



▲中学校生活を知ってもらうために

ンの資料を考えたり準備したりする大変さを実感しました。改めて「去年の先輩たちは、こんなに準備を頑張ってくれていたんだな」と思いました。

当日は、学校あるあるの動画や学校クイズ、学校案内を通して、六年生に中学校のことを伝えることができました。

給食の時間も六年生が困っていないか、気を配り、自分から動いてアドバイスができました。これからも視野を広げて自分から行動できるようにしていきたいです。

## 麻績の神社と 薙鎌信仰について

(その十二)

### 矢倉諏訪神社について

#### 一、由緒について

村誌には、明細帳に「該社住時ノ祭建年曆シレズノ社アリ、文永九（一二七二）年十月善導寺住職保管上人寄附シ社殿建築ス、諏方大明神ト称シ奉祀シ維新ノ際諏方社ト改メ奉祭ス」とある。その後、昭和二（一九二七）年四月一日より村社諏訪神社と改称されたとある。

麻績村の歴史遺産と文化財には、「創建の年代は不明であるが、古くから矢倉の地に鎮座している社である。

文永九（一二七二）年十月当所善導寺住職保管上人が寄附し社殿を建築し、諏訪大明神と称し奉祀した。その後、宝永七（一七一〇）年八月施主小山源兵衛・遷宮師善導寺住職単管

上人が現在地に社殿を造営し、遷宮した。明治維新の際、諏訪社となり、大正十五（一九二六）年八月村社に列せられ、昭和二（一九二七）年村社諏訪神社と改められた。同二十一（一九四六）年政教分離により矢倉諏訪神社となり、現在に至っている」と記されている。

本殿は元県史編纂委員吉沢政己氏の説によれば、「立川流が隆盛した時期の流れを汲んだものと見られる」という。

境内社の天満宮も立川流の特色が見られるという。矢倉諏訪神社建立の謎は善導寺の住職が関わっていることである。文永九（一二七二）年の寄付による社殿の建築に際して遷宮師をつとめている。

尚寺伝によれば、文永九（一二七二）年は、大福寺【おおふくじ】に京都知思院保管上人を聘し、寺号を善導寺と改称した年である。矢倉諏訪大明神は、善導寺（大福寺）の鎮守であったと推考される。

上井堀西光寺の鎮守として秋葉社（金毘羅大権現）が祀られている例がある。

#### 二、諏訪神社と鎌倉

大社発行の「諏訪大社」には、「源頼朝が源氏再興の守護神として篤く崇敬して」とある。

広辞苑には、「信濃国一の宮の諏訪大社の大祝家【おおほうりけ】戦国時代武士団を構成し頼朝に従い御家人となる」とある。

諏訪氏は鎌倉時代、北条家の得宗被官【とくそうひかん】（北条氏家督の家臣）となり、信濃の武士団の中心として活躍する。

盛重は、承久の乱（一二二一年）で、中先代の乱（一二三三五年）では頼重が北条高時の遺児時行を擁立して戦っている。

鎌倉には、江ノ島近くに「諏訪ヶ谷」というバス停があるという。

藤沢市片瀬の諏訪神社には、養老七（七二三）年信濃国より諏訪神を勧請したもので、諏訪大社が他所郷へ分霊した最古といわれている。

いる。令和五（二〇二三）年が鎮座一三〇〇年だという。

片瀬は鎌倉時代西の出入り口の要衝で、防衛上の一大拠点であり、軍神守護神として祀られたものである。

#### 三、鎌倉時代の矢倉郷

建久三（一一九一）年頼朝が征夷大將軍となり、鎌倉に幕府が開かれた。

領地には、土地の管理や年貢の徴収、検断権をもつ地頭が置かれた。

矢倉郷（村）は、幕府の有力者政所執事、所領五十ニカ所の地頭伊賀式部丞光宗の領地であった。請所が置かれ、地頭請がその任に当たったものと推考される。

元仁二（一二二五）年、伊賀氏の乱で光宗は、矢倉に配流されるが、嘉禄元（一二二五）年十二月二十

二日、特赦により鎌倉に帰参、評定衆となるが、領地は八カ所となる。矢倉郷は、これに含まれ、代々伊賀氏に引き継がれる。（福島県いわき市飯野八幡宮文書）

福満寺には、伊賀氏の一族光宗の兄、光季（京都守護であったが、承久の乱で殺害された）の孫、伊賀藤原時盛の祈願状（県宝）がある。

重要文化財の日光・月光菩薩の胎内銘には、北条系の年号元徳四（一二三二）年、正慶元（一三三二）年が用いられている。

このほか筑北村坂井の安養寺は北条氏の信濃の中心地盤であった塩田前山寺の末寺であり、大吉原郷（飯野八幡宮文書）・坂北岩殿寺などに伊賀氏に関わる文書が残されている。

南北朝時代の建武三（一三三六）年二月十五日には、十日市場（宮本と筑北中学校の間と推定されている）付近において、北条時興（高時の弟、泰家）と村上信貞の戦いがあった。

この時代、筑北一帯は、北条氏の御家人伊賀氏の所領であったとも推考され、北条色は濃厚であった。

次号に続く  
「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸



# 本の森だより

おみ図書館

## 「ハロウィンお話し」

筑北村坂井の「お話しサランボ」さんを講師にお迎えし、麻績保育園の年中児を中心に村内の方も参加され賑やかに開催されました。

代表である小池浩京さんの木笛の演奏や手遊びでなごやかな雰囲気になったところで、大型絵本「どうぞのいす」の読み語り、とても集中して聞いてくれました。

パネルシアターの「大きなだいこん」では、登場人物がそれぞれ違う掛け声を発してだいこんを引っ張ります。園児たちも掛け声の



▲子どもたちも笑顔で一生懸命まねします

順番を覚えながら、一緒になって「うんとこしょ、どっこいしょ、よいこらしよ」と盛り上がりました。



▲ネズミのかけ声は「ちゅうこらしよ！」

楽しい時間はあっという間に過ぎて、園児たちは「まだ帰りたくないよー」とお話会の続行を希望し、異例のアンコールが決定。皆で歌ったり、意外な特技披露があったりと、最後



▲カボチャのお面をもらったよ！

まで盛りだくさんの会になりました。そして最後にはお土産のプレゼントを手に、満足気な園児たちでした。

## 本のリサイクル市開催

文化祭の二日間、地域交流センター三階ロビーで、本のリサイクル市を開催しました。

本に親しんでいただくとともに、資源の有効活用を図ることを目的に、図書館の廃棄本と寄贈本がリサイクル本として並びました。

オープニングセレモニー直後から、子どもから大人まで幅広い年代の方々が来場し、本を選ぶ姿がありました。本に新たな価値が生まれ、再活用されていくことに感謝しています。ご利用ありがとうございました。

## 筑北中学校読書旬間 学習委員会主催の「秋の



▲新たな本との出会いを求めて

## 前月の図書館

来館者数 454人  
貸出冊数 818冊  
ご来館ありがとうございます。



▲新しいジャンルを楽しんでみませんか？

読書旬間」に参加しました。全校生徒が読書への関心を高め、本を身近に感じる機会にすることをねらい、おみ図書館の職員がおすすめの本の紹介や、読み語りなどを行いました。

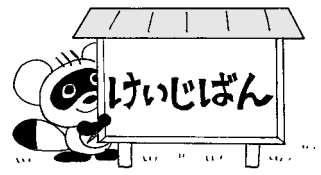
麻績小学校図書館便り  
紙芝居上演会が開かれました。紙芝居の会さんによる郷土の紙芝居。今回は、三・四年生に、「お蚕さま」を上演していただきました。昔は貴重な収入源で「お蚕様」と呼んで大事にされていたとはいえ、今の小学生にとっては全く未知の生き物。そこで、写真や実際に食草の桑を提示していたりしながら、カイコの育ち方や農家の仕事について学習することができました。



▲カイコを育てるって大変



▲これ、見たことある？



## 麻績消防署からの お知らせ

### 火災予防条例が変わります

令和七年二月二十六日に大船渡市で発生した林野火災は、延焼範囲が日本の林野火災としては約六十年ぶりとなる大規模な林野火災となりました。

そこで、林野火災への対策として火災予防条例を改正し、令和八年一月一日より「林野火災に関する注意報・警報」が運用開始となります。

火災が発生しやすい気象条件になった際、火災の発生を未然に防ぐため市町村長が発令することができるようです。

注意報・警報が発表された場合、以下のとおり「火

の使用制限」がかかります。

一、山林、原野等において火入れをしないこと。

二、煙火（花火）を消費しないこと。

三、屋外に置いて火遊び又はたき火（あぜ焼きを含む）をしないこと。

四、屋外においては、引火性又は爆発性の物品その他の可燃物の付近で喫煙をしないこと。

五、山林、原野等の場所で喫煙をしないこと。

六、残火（たばこの吸い殻を含む）、取灰又は火粉を始末すること。

林野火災が発生しないように、ご協力をお願いします。

## 体力測定会

スポーツ庁の体力・運動能力テスト（新体力テスト）の実施について麻績村教育委員会に依頼がありました。あわせて住民の皆さんに自分の体力がどのくらいあるのかを確認してもらうため、体力測定会を十月二十六日に麻績小学校体育館で実施



▲長座体前屈

しました。

共通の握力測定や長座体前屈の測定後、二十歳から六十四歳対象と、六十五歳から七十九歳対象の二グループにわかれ、前者は反復横跳びや二十mシャトルランなどを、後者は開眼片足立ちや六分間歩行などを測定しました。

最後に測定結果から、自分のAからEまでの総合評価と体力年齢が何歳なのかを確認し、一喜一憂していました。

多くの皆さまのおかげで、測定データを提出することができました。ご協力ありがとうございました。

## 公民館行事の予定

### ○第七回麻績学級

日時…令和八年

一月二十三日（金）

午後二時から午後四時

（予定）まで

場所…地域交流センター

内容…ラダーゲッター

### ○ボイストレーニング教室

日時…令和八年

一月二十四日（土）

午前十時から十一時三

〇分（予定）まで

場所…地域交流センター

講師…伊藤さくみさん



## お誕生おめでとう



吉野 麦ちゃん  
聡夢・由梨  
（本町）



小林 香穂ちゃん  
巧実・枝保里  
（明治町）



小林 丈士ちゃん  
巧実・枝保里  
（明治町）



小林 紅巴ちゃん  
巧実・枝保里  
（明治町）

## ご冥福を祈る

小瀬 宗彦 89歳 横屋

## お詫びと訂正

館報十月号の五面の記事に誤りがありました。正確には次のとおりです。訂正してお詫び申し上げます。  
「二年 待井未桜奈」